

2018年春学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
キリストのからだとしての召会を建造するために、
キリストの豊富を享受する

メッセージ 7

聖徒たちに割り当てられた分け前としてのキリストを享受して、
キリストのからだである召会を建造する

聖書：コロサイ 1:12. 出 3:8. 申 8:7-10. 26:9

- I. 卓越した、すべてを含む方としてのキリストは、御父の愛する御子の王国において、
聖徒たちに割り当てられた分け前です——コロサイ1:12-13：
- A. 割り当てられた分け前とは、嗣業の分け前のことを言います。それはイスラエルの
子たちに、カナンの良き地の分け前が、彼らの嗣業として割り当てられたことで例
証されます——ヨシュア1:14。
- B. 新約の信者に割り当てられた分け前は、物質の地ではありません。それは、命を与
える霊であるすべてを含むキリストです——コロサイ2:6-7. ガラテヤ3:14. 5:16.
ローマ8:4：
1. 良き地の豊富が予表しているのは、キリストの計り知れない豊富のさまざまな面
であり、彼の霊の中で信者たちに対して満ちあふれる供給となっています——申
8:7-10. エペソ3:8. ピリピ1:19。
 2. 良き地の豊富を享受することによって、キリストにある信者たちは建造されて、
キリストのからだとなります。それは神の家であり、神の王国です——エペソ1:
22-23. 2:21-22. Iテモテ3:15. マタイ16:18-19. ローマ14:17。
- II. 神の召しの目的は、神の選びの民を、乳と蜜の流れる良き地によって予表される、す
べてを含むキリストの享受へともたらすことです——出3:8. Iコリント1:2, 9：
- A. 乳と蜜は、動物の命と植物の命とのミングリングですが、それらはキリストの命の
二つの面です。すなわち、贖う面と生み出す面です——申 8:8. 26:9. 参照、ヨハ
ネ 1:29. 12:24：
1. キリストの命の贖う面は、わたしたちの法理的な贖いのためです。キリストの命
の生み出す面は、わたしたちの有機的な救いのためです——ヨハネ 1:29. 12:24.
啓 2:7. 22:14. ローマ 5:10。
 2. 主の食卓の象徴は、キリストの命の贖う面と生み出す面を表徴しており、それは
神の全体的な救いのためです。こういうわけで、良き地はわたしたちの享受のた
めの食卓、宴席となりました——マタイ 26:26-28. Iコリント 10:16-17。
- B. 乳と蜜のある地としてのキリストを享受することによって、わたしたちは乳と蜜と

しての彼で構成されます——雅 4:11 前半. I ペテロ 2:2. 詩 119:103。

Ⅲ. 良き地は小麦のある地であり、それは制限されたイエス、すなわち、肉体と成り、十字架につけられ、葬られた方を予表します——申8:8. ヨハネ12:24 :

A. わたしたちは、制限され、圧迫された状況のただ中で、小麦の穂としての主を経験するかもしれません——ヨハネ 12:24-26 前半. 啓 1:9. 使徒 16:7 :

1. わたしたちを制限し、束縛する環境の中で主と接触するとき、わたしたちが認識するのは、彼が有限の人と成った無限の神であること、また彼の中にはどのような制限にも耐える力があるということです——ピリピ 4:13。
2. わたしたちの命なるキリストは小麦の穂としてわたしたちの内側におり、肉体と成った方、制限された方の命を生きます。彼はわたしたちの命であって、わたしたちに進んで制限させ、死なせ、葬らせます——コロサイ 1:27. 3:4。
3. 主と接触するなら、わたしたちは小麦の穂としての彼を経験するでしょう。そして彼の中で、わたしたちは自分の状況に満足するでしょう——ピリピ 4:11-12。

B. 自らをキリスト・イエスの囚人と考えたパウロは、見たところ物質の獄に閉じ込められていたようですが、実際にはキリストの中に監禁されていました——エペソ 3:1. 4:1。

C. 最終的に、すべてのキリストを忠信に愛する者は、キリストによって、またキリストの中に監禁されます。わたしたちは彼を愛すれば愛するほど、彼がわたしたちの獄になる程度にまで、ますます彼の中になります。獄において、わたしたちは極みまで彼を享受することができます——ピリピ 4:4。

Ⅳ. 良き地は大麦のある地であり、それは復活したキリストを予表します :

A. 大麦は早く熟すので、収穫の初穂（復活したキリストの予表）です——I コリント 15:20. レビ 23:10。

B. 初穂として、キリストは命のパンとなりました。このゆえに、大麦のパンはわたしたちにとって食物としての、復活の中のキリストを表徴します——ヨハネ 6:48. 申 8:9 前半 :

1. 数字の五は責任を表徴します。これが示しているのは、復活したキリストが責任を担うことができるということです。
2. 大麦のパンとしてのキリストを常食とするとき、わたしたちは大麦のパンとなって、わたしたちが経験したキリストをもって他の人たちを養います——参照、士師 7:13-14。

C. 制限されたイエスである小麦を経験するために、わたしたちは制限のないキリストである大麦を適用する必要があります。わたしたちは復活したキリストの力の中で制限されたイエスに従います——ヘブル 13:12-13。

D. わたしたちは、わたしたちを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができます。なぜなら、彼は復活した方、制限のないキリストであるからです——ピリピ 4:13。

Ⅴ. 良き地はぶどうのある地であり、それは犠牲となるキリスト、自分自身のすべてを犠牲としたキリストを予表します。彼はご自身の犠牲から、新しいぶどう酒を生み出して、神と人を元気づけます——申8:8. 士師9:13. 詩104:15前半 :

A. キリストはぶどう酒を生み出す者であり、ご自身を犠牲として、ぶどう酒を生み出し、神と他の人たちを元気づけます。わたしたちが、ぶどうによって予表されるキリストと接触し、犠牲となる彼の命を経験するなら、彼はわたしたちを元気づけて、わたしたちに犠牲の命を生きさせ、ぶどう酒を生み出して、他の人たちと主を幸いにさせます——ローマ 12:1. エペソ 5:2. II コリント 1:24。

B. 自分自身において、わたしたちは犠牲の命を生きることはできません。なぜなら、わたしたちの命は天然の命、自己中心的な命であるからです——ヨブ 2:4. マタイ 16:25 :

1. わたしたちが主と接触し、彼の犠牲となる命を経験するなら、彼はわたしたちを元気づけ、力づけて、神のための、また他の人たちのための犠牲とならせます——ピリピ 4:13. ローマ 12:1. エペソ 5:2。

2. ぶどうとしての犠牲となる命をもったキリストを経験すればするほど、わたしたちはますます元気づけられて、自分自身を犠牲とし、神と他の人たちを幸いにします :

a. わたしたちは幸いに「酔いしれ」て、最も幸いな人は最も自己中心的でない人であることを認識します。

b. わたしたちは、わたしたちと接触する人たちに幸いをもたらし、またわたしたちは神に元気を与えます——II コリント 1:24. 5:13 前半。

VI. 良き地はいちじくの木のある地であり、それはわたしたちの供給としてのキリストの甘さと満足を表徴します——申8:8前半. 民13:23. 士師9:11 :

A. パウロは彼の供給としてのキリストの甘さと満足を体験し享受した人の模範です——ピリピ 1:7, 18-19. 2:17-18. 3:1. 4:4, 10-13。

B. パウロの願いはこの世を去ってキリストと共にいることでしたが、その信仰に対する聖徒たちの進歩と喜びのために、彼は喜んで肉体にとどまりました—— 21-26 節 :

1. 経路としてのパウロを通して、聖徒たちはキリストを経験し、その信仰に対する進歩と喜びを経験することができました—— 25 節。

2. 今日、供給の経路の緊急の必要があります。もし聖徒たちがキリストを経験すべきであるなら、だれかが供給の経路として機能しなければなりません。

C. パウロは恵みにあずかる者であったので、主の中で大いに歓喜しました。彼は主の中で幸いであり、彼の幸いは時が過ぎても衰えることはありませんでした—— 1:4. 2:2. 3:1. 4:4, 10。

D. からだを通して、パウロはイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を受けました。恵みはキリストにある神であり、それはイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、わたしたちに伝達されるわたしたちの享受です—— 4:23. 1:19。

VII. 良き地はざくろのある地であり、それは命の豊満、命の満ちあふれと美しさ、命の豊富の表現を予表します——申8:8. 出28:33-34. 列王上7:18-20 :

A. ざくろと金の鈴が大祭司の上服のすそにありましたが、それは召会を表徴していません——出 28:33-34。

B. 召会はその人性において命に満ちているべきです。これが、亜麻布で作られたざく

ろの表徴です。

- C. 召会は命の豊満の表現のための人性と金の鈴を鳴らすための神性を持っています：
1. 命の豊満は召会の人性において表現されますが、警告の音は召会の神性（金の鈴）において表現されます—— 35 節。
 2. わたしたちはまず命の豊満の表現を持ち、続いて金の鈴の音、すなわち召会の神性からの語りかけを持ちます。
 3. わたしたちの人性において表現される命の美しさと金の鈴から出る神聖な音は、正当な召会生活のしるしです。

VIII. 良き地はオリブの木のある地であり、それはその霊で満たされ、油塗られた方としてのキリストを予表します——申8:8. ゼカリヤ4:12 :

- A. オリブの木の油（聖霊を予表する）は、神と人を尊ぶために用いられます——士師 9:9. 参照、サムエル上 2:30 :
1. わたしたちは聖霊なしに主に仕えたり、他の人たちを助けたりすることはできません——使徒 6:3。
 2. 主に仕え、他の人たちを助けるために、わたしたちはその霊で満たされなければなりません。聖霊で満たされるときはじめて、わたしたちは神を尊び、他の人たちを尊ぶことができます。
- B. わたしたちはキリストを他の人たちに分け与え、彼らに油を供給するとき、神（金）を彼らに供給しています——ゼカリヤ 4:11-12 :
1. わたしたちはみなオリブの木であって、神を自分自身から他の人たちの中へと入れるべきです。
 2. このようにして、神を流し出しているオリブの木である人たちによって、飢え渴いている人たちに油が供給されます。
- C. クリスマンとして、わたしたちがオリブの木であるというのは、各自が分離した木という意味ではなく、唯一のオリブの木であるキリストの枝々という意味です—— 11-12 節 :
1. キリストは唯一のオリブの木ですが、彼から多くの枝、多くの新芽が出てきます。これらの枝や新芽が今日、地上における多くのオリブの木です。
 2. 唯一のオリブの木であるキリストの枝として、わたしたちは油をもって、すなわち、その霊をもって、他の人たちを供給する必要があります。それは、彼らが神の唯一の証しのために生かされるためです。